

## ■効果の見える治水事業

### 徳島県 「おおがみ大神地すべり対策事業」

徳島県県土整備部東部県土整備局 局長 せお瀬尾 まもる守



#### ○概要

当箇所は、徳島県吉野川市美郷字大神に位置する「大神地すべり防止区域」で、区域北西部には「高開の石積み」と呼ばれる石積みが積まれてシバザクラが植えられており、日本の里を代表する伝統的な風景として「にほんの里100選」にも選ばれた地域となっております。

昭和42年度から昭和61年度にかけて地すべり対策事業を実施していましたが、その後、徐々に地すべりによる変状が進行したことから、地元の強い要望を受け、平成21年度から対策事業を再開しました。

本事業では、地下水を排除するボーリング排水工により、地すべりを抑制する対策工を実施し、過去に整備した対策事業と合わせた効果により、地すべり変動が沈静化したことから平成27年度をもって概成いたしました。

近年は、ゲリラ豪雨などにより全国各地で甚大な土砂災害が頻発しており、社会的にも防災意識が一層高まっていることから、今後とも、地すべり等の土砂災害から住民の生命・財産を守るため、土砂災害対策にしっかりと取り組んでまいります。

#### ○事業内容

- ・事業期間 平成21年度～平成27年度
- ・整備内容 ボーリング排水工 N=60本 (Σ L=1,925m)



## 「地域資源を守り育てながらも、安全で安心なまちづくり」

吉野川市長 かわまた川真田 てつや哲哉



吉野川市は、平成16年10月1日に麻植郡鴨島町・川島町・山川町・美郷村の4町村が合併し誕生した、総面積144.14km<sup>2</sup>の徳島県のほぼ中央部に位置します。

美しい清流「四国三郎」吉野川に生まれ、ホタルの乱舞やつつじの群落など四季折々の豊かな自然が息づいています。

#### 高開石積みライトアップ



本市の美郷大神地区にある高開石積みは、見上げると山肌に横一面に引かれた石垣が、山頂まで段々に連なっており、まるで古代遺跡が空へ続く巨大な石の階段のようです。毎年12月の第3土日には、「高開石積みライトアップ」があり、優美で幻想的な石積みの姿は冬の風物詩となっております。また大神地区を含む美郷全域は、「美郷のホタル及びその発生地」として国の天然記念物に指定されており、本市ではそれらを地域の貴重な財産として活用することにより、生涯学習や環境教育の場として人々が交流し、地域の活性化を図るため、美郷ほたる館を構えています。この美郷ほたる館を活動拠点にし、毎年5月の美郷ほたるまつり、夏には川遊びなど年間を通じて様々なイベントを開催します。

そして梅栽培も盛んな美郷では、全国初の梅酒特区に認定され、地区では、毎年11月下旬に「梅酒まつり」も開催されています。

しかしながら、この地域は山に囲まれた土地がら、多くの地すべり地が存在し、昭和初期から地すべり対策事業を徳島県の協力のもと進められてきました。近年では、異常気象や集中豪雨などにより、土砂災害が頻繁に発生しており、当地域も例外ではありません。本市の市民憲章の中には「健康で快適に暮らせる安全で安心なまちにします」とありますようにハード整備・ソフト対策の両面から住民の生命や身体を守っていく必要があります。

このような中、大神地区ではハード整備である地すべり対策事業が概成しました。これからは、ソフト対策の強化として、ハザードマップの配布や自主防災組織と連携した防災訓練などを進めていきたいと考えています。

今後とも、今ある地域の自然・文化・歴史・産業など、多彩な地域資源を守り育てながらも、安全で安心なまちづくりを基盤とし、地域の将来像をしっかりと見据えながら、誰もが住み続けたいと思える吉野川市を目指してまいります。

